

母、その他の保護者は、子の教育について第一義的責任」と「国及び地方公共団体の責務」が謳われているが見解は、

【答弁】 保護者の果たすべき役割や責任が明確化されたことは意義深いと思う。行政として、保護者の自主性に配慮しつつ、家庭教育を積極的に支援する必要がありと考える。



降雪対策

【答弁】 条例化の予定はないが、全国の先駆けとなる取り組みを調査・研究していきたい。

【質問】 降雪した今年1月16日から17日の事故件数は、

【答弁】 市内で120件である。

【質問】 行政の対応はどうか。

【答弁】 同報無線で注意喚起をした。当日は建設業者と連携し生活道路の確保等に努めた。

安心・安全なまちづくり  
教育の諸課題／行政課題

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員（二問一答）

安心・安全

【質問】 23年度予算に家庭内防災対策として家具固定の推進とあるが、方法と課題は。

【答弁】 自治会を通して申込書等を全市帯に配布し、市内の建築工業組合に作業を依頼する。補助金は「はくとふる商品券」で交付する。留意事項は、自治会の過大な負担にならないことなどである。

【質問】 24年実施の中学校学習

教育

【質問】 市内の狭あい道路の現状と改善策は。

【答弁】 幅員4m未満の市道は約1100kmある。建築基準法第42条第2項に該当する道路に接道して建物を建築する際、原則として道路の中心から2mの後退が生じるため、完了検査時等に確認している。

【質問】 保育園待機児童の実態と対策、また正規職員比率の実態と比率向上の取り組みは。

【答弁】 低所得者の増加等により、医療費の増加に見合う保険料収入の確保が難しく、医療費抑制を図るため、レセプト点検の充実等が課題である。また22年度、現在約340件の差し押さえを実施した。課題は、よりの確に財産等の状況を把握することである。

【質問】 保育園待機児童の実態と対策、また正規職員比率の実態と比率向上の取り組みは。

【答弁】 23年1月現在の待機児童数は236人で、施設整備による受け入れ施設の拡充を図っていく。保育士の23年4月の正規職員配置率見込みは50・6%で、フルタイム勤務の嘱託職員等の確保に努める。



磐田北幼稚園（北小ひこうき園舎）

【答弁】 27年度の移管に向け協議中だが、詳細は未定である。

安心安全  
まちづくり

日本共産党磐田市議団 稲垣あや子 議員（二問一答）

安心安全

【質問】 国保加入者の実態と課題、国保税滞納者への差し押さえの実態と課題は。

【答弁】 低所得者の増加等により、医療費の増加に見合う保険料収入の確保が難しく、医療費抑制を図るため、レセプト点検の充実等が課題である。また22年度、現在約340件の差し押さえを実施した。課題は、よりの確に財産等の状況を把握することである。

指導者育成は、22年度から2



武道場（城山中）

【答弁】 天平のまちの中の公

年間、県主催の研修会が実施されている。専用施設は、市内10中学校のうち8校にあり、残る福田・神明中もできるだけ早期に設置したい。

【質問】 23年5月から新ごみ処理施設が本格稼働する。ごみの自己搬入の改善策は。

【答弁】 現状の開場日に元旦を除く祝日と第2・第4日曜日を加え13時まで。12月29日・30日は15時まで受け入れる。

まちづくり

【質問】 女性管理職登用の現状と課題は。

【答弁】 22年4月の現状は13・7%、53人である。課題は管理・監督者としての能力開発や資質向上を図ることである。

【質問】 専用卓球場確保にかかわる要望について市の考えは。

【答弁】 既存公共施設を代替えとして提供可能かどうかも視野に研究していきたい。

【質問】 市内プールの改善策は。

【答弁】 今後、障がい者や高齢者の利用者が利用しやすい環境の整備に向けて研究する。

【質問】 下水道の県からの管理移譲スケジュールは。

【答弁】 27年度の移管に向け協議中だが、詳細は未定である。

# 高齢者能力活用と環境・資源 経費削減

新警田 玉田文江 議員（総括質問）

## 高齢者能力活用

**質問** 高齢者能力活用の施策をどう計画しているか。

**答弁** シルバー人材センターへの登録、老人クラブにおける介護予防への参加などをPRしながら、加入・促進に努めたい。また、市民活動センター等と連携しながら活動の場や情報提供に努め、市民活動への参加を促進したい。

**質問** 資源となる粗大ゴミの再生販売をシルバー人材センターに任せる考えは。

**答弁** 現時点では対応できる環境になく、今後、自主事業として運営する意向となった場合は、協力できる部分について話し合いをしていきたい。

## 経費削減

**質問** 経費削減を振り返り、メリット・デメリットの検証と今後の方向は。

**答弁** 厳しい経済情勢の中、市民生活を守ることを最優先とするためのソフト事業を重視し、延伸が可能な普通建設事業等は延伸・休止した。今

後も緊急性の高いものや市民生活に密着した事業を優先して実施していく。

**質問** 将来の明るい展望が見えるような方針を示していただきたいがどうか。

## 竜洋地区の諸課題 高齢者福祉の充実

五和会 岡

實 議員（総括質問）

### 掛塚地区のまちづくり

**質問** 掛塚地区のまちづくりと活性化についての考えは。

**答弁** 行政主導でなく市民の熱意による立ち上りが大前提である。事業は具体的な住民の動きがなく、白紙の状態であり、今までかかわった人たちの住民合意、自然な盛り上げが必要と考える。旧竜洋町時代の提言書は、事業展開する場合の参考資料と考える。



竜洋海洋公園

**質問** 第二期工事の見直しは。

**答弁** 利用可能までには長い年月を要し、多額の整備費がかかる等の課題がある。活用方法と整備内容等を検証し、国・県の指摘を踏まえ、当初計画を見直し、当面の事業休止を判断した。地域審議会へは、23年度に説明したい。

### （仮称）飯高橋

**質問** 折衝状況等は。

**答弁** 浜松市長と意見交換を行い、浜松市は、浜松駅から国道1号までを

### 福田の食の拠点づくり

など、将来に希望を持つていただけると掛付けを、精いっぱい頑張っていく。

**質問** コーデュロイハウスに関して、産業の歴史として将来の展望の具体的な考えは。

**答弁** 将来は産業展示館のよ



旧コーデュロイハウス展示室

うなものができればと思うが、整理整頓した後に発展すべき基礎を作っていく。

**質問** 地元のものとして市の記念品等として使う考えは。

**答弁** 地元のものを使う時代に入っており、そういう意識を持つてや

整備区間として取り組んでいる。国道1号から東は構想段階路線で、他の未整備路線と比較しても優先順位は低いとの考えを確認した。今後の展開は、浜松市の整備機運が高

## 新駅と周辺区画整理事業 市東部地域のまちづくり計画

五和会 八木邦雄 議員（二問一答）

### 新駅

**質問** 新駅託費の概要・進捗状況・今後の予定は。

**答弁** JRへの委託の概要は、測量、地質調査及び自由通路橋上駅舎の基本設計や概算工事費の算出、施工方法の検討である。現在、測量地質調査が終了し、自由通路の幅員などの設計条件を協議し、23年

度末の完了を予定している。

**質問** 新駅設置時期は。

**答弁** 土地区画整理事業の進捗状況や旅客需要を勘案してJRが判断するため、明言できる状況ではないが、完成まで7年程度かかると思う。

**質問** 新駅周辺の区画整理事業と併せてどのようなまちづくりを考えているか。



磐田駅北口広場

**答弁** 将来の本市の発展のため、磐田駅北口広場整備事業や、独自施策として市内の新産

**答弁** 将来の本市の発展のため、磐田駅北口広場整備事業や、独自施策として市内の新産

市政

**質問** 本市の成長戦略の具体策を伺う。

誠和会 鈴木啓文 議員 (総括質問)

市政の課題と取り組み／豊かさの実感できるまちづくり／広域行政と地方主権

**質問** 新駅設置・区画整理が行われている東部地域のまちづくりの考え方は。

**答弁** 新駅を核として、向笠地区、南御厨地区あるいは福



**東部地域**  
**質問** 新駅設置・区画整理が行われている東部地域のまちづくりの考え方は。

**答弁** 人口規模として最も効率的・効果的に行政運営ができる規模は、20万人程度とする意見もあり、中核都市建設は今後の研究課題と考える。

**質問** 駅利用者のための駐車場の考えは。

**答弁** 駐車場はパーク・アンド・ライドの推進、また需要状況にもよるが、民間での設置を誘導したい。

**答弁** 商業施設・業務施設の誘導を図り、区画整理区域全体では緑豊かな、ゆとりある市街地整備をし、新たな定住環境の創出を目指している。

田地区まで想定した区域で、東部地域の連続性が確保できる南北軸道路の位置づけが必要であると認識し、新駅への交通機能の強化を考えている。

**質問** 天竜川から大井川の間の中核都市建設をしていく考えはあるか。

**答弁** 人口規模として最も効率的・効果的に行政運営ができる規模は、20万人程度とする意見もあり、中核都市建設は今後の研究課題と考える。

**質問** 天竜川から大井川の間の中核都市建設をしていく考えはあるか。

**答弁** 人口規模として最も効率的・効果的に行政運営ができる規模は、20万人程度とする意見もあり、中核都市建設は今後の研究課題と考える。

まちづくり

産業振興

**質問** 天のまち公共フロアの活用策は。

**質問** 今後二、三年の産業振興策の重点は。

**答弁** 現在よりも多くの市民に利用されることを重点に、中心市街地にある公共施設として見直しを進めていきたい。

**答弁** 産業交流会など市内企業との情報交換を行い、官民一体の取り組みを継続する。また、新規にEV関連事業を実施し、市内企業の技術力向上等を支援したい。

**質問** 農地集積事業のうち、樹園地の今後の推進策は。

**質問** 観光産業の育成・活性化の取り組みをどう考えるか。

**答弁** モデル的な取り組みができないか農協や土地改良区などの関係機関と連携し、検討していきたい。

**答弁** 行政だけでなく、観光協会や事業者が一体となつて取り組むべき課題である。観光協会の役割も見直す時期に来ており、23年度は1年をかけ、観光振興ビジョンを作成し、本市の特徴を生かした観光振興を目指していきたい。

**質問** 広域行政に取り組みたい。

**質問** 審議会・委員会やパブリックコメントなどの成果と課題は。

**答弁** 広域化することによって住民サービスが向上し、効率化等が図られる分野、業務は、積極的に周辺市町との連携を図っていく。

**答弁** 審議会等の設置やパブリックコメントの手続きの指針を定めて市

**質問** 企業を退職した方へ協働に関する啓発をする考えは。

**答弁** 豊富な知識等をお持ちなので啓発はもちろん、すぐれた人材を生かしたまちづくりをより一層進めるよう検討していきたい。

協働

行財政改革

**質問** 企業や労働組合の研修に、協働に積極的な参加を促すための啓発をする考えは。

**答弁** 地域活動の研修等を企業と協働でできたら、効果は大きいと考えられる。退職後のまちづくり活動への参加にもつながる。行政から企業へダイレクトに呼びかけられる体制づくりができればと思う。



産業振興／行財政改革  
協働のまちづくり

新磐田 松野正比呂 議員 (総括質問)

産業振興

**質問** 今後二、三年の産業振興策の重点は。

民の参画機会の拡大などを行っている。課題は、審議会等は、テーマに合った委員の人选に努める必要があること。パブリックコメントは、お寄せいたたく意見が少ないことである。

**答弁** 産業交流会など市内企業との情報交換を行い、官民一体の取り組みを継続する。また、新規にEV関連事業を実施し、市内企業の技術力向上等を支援したい。

**質問** 観光産業の育成・活性化の取り組みをどう考えるか。

**答弁** 行政だけでなく、観光協会や事業者が一体となつて取り組むべき課題である。観光協会の役割も見直す時期に来ており、23年度は1年をかけ、観光振興ビジョンを作成し、本市の特徴を生かした観光振興を目指していきたい。

**質問** 企業を退職した方へ協働に関する啓発をする考えは。

**答弁** 豊富な知識等をお持ちなので啓発はもちろん、すぐれた人材を生かしたまちづくりをより一層進めるよう検討していきたい。

### 安心・安全なまちづくり 活力あるまちづくり／魅力ある教育

公明党警田 鈴木喜文 議員（総括質問）

#### 安心・安全

**質問** 市営住宅の中期計画と、民間住宅の買い上げや借り上げの見直しは。

**答弁** 延伸している大久保住宅の建てかえ検討と既存住宅の長寿命化を図るストック事業を展開する。民間住宅は、基準が緩和された場合は、実態調査等を行い活用したい。

**質問** 認知症サポーターの現状と今後の施策を伺う。

**答弁** 本市では1497人を養成している。今後も認知症高齢者の増加が見込まれるので、より多く養成したい。

#### 活力

**質問** 地元企業と学生を結びつけるマッチングの推進は。

**答弁** 昨年9月、商工会議所等と合同就職面接会を開催し、参加企業の中で合計10名が採用されたと聞く。23年度も二、三回程度の実施をしたい。

**質問** 電気自動車と電動バイクの普及について見解を。

**答弁** 公用車のうち2台の軽自動車を電気自動車に改造す

る。電動バイクは、市内2社より購入し、電気自動車と同様の社会実験をし、普及・啓発を行っていききたい。

**質問** 豊岡地区のご飯持参型

教育

うたのあるまちづくり

高齢者施策の現状と課題

新警田 川崎和子 議員（総括質問）

うたのあるまちづくり

給食の今後と、センター型給食の安全性の再指導は。

**答弁** 給食への理解に結びつき、給食費未納がない理由にもなっているので継続したい。

センターはドライシステムを採用しており、今後も事故を未然に



豊岡学校給食センター

防くよう心がける。

**質問** 電子図書館への取り組みと、電子書籍端末体験特別展の検討の考えは。

**答弁** 研修会等に参加し情報収集に努めている。特別展は、県立中央図書館の電子書籍利用検証モニターへの本市の参加も含め検討したい。

**質問** 特養の優先入所基準を市でも導入する考えは。

**答弁** 県の優先入所指針に基づき基準で決定しているため、今のところ市の基準を設ける必要性がない。より適切な基

消防団の活性化／市内の公共交通  
救急医療施設

誠和会 早川勝次 議員（総括質問）

**質問** 消防団員や協力事業所への税の軽減措置の考えは。

**答弁** 他の自治体の動向に注意し、慎重に対応したい。

**質問** 協力事業所に入札参加資格を加点優遇する考えは。

**答弁** 総合評価方式における社会貢献の評価項目として、加点評価について研究する。

**質問** 老朽化している分団詰め所の建てかえの時期は。

**答弁** 消防団の再編計画に基づき、詰め所の統廃合を視野に入れ順次更新する。

**質問** 竜タクの利用者の状況・課題や今後の見直しは。

**答弁** 3カ月間で登録者数は522人、利用者数は55人、



合唱発表会（警田一中生徒）

い状況である。中学校は、

市の負担額は約5万円である。前日午後5時までとしている予約方法が課題で、当日予約できるような見直しを検討する。

の内容は。
【答弁】 外科系は擦り傷治療等の小外科といわれるものを想定するが、眼科や耳鼻科等の医師も診察するかなど、今後の検討課題である。

【答弁】 自主運行バスにかわる新たな公共交通について、各地区における具体的な運行実施計画案を作成したい。

【答弁】 本施設は一次救急医療施設であり、時間外診療所ではないことなどを、広報紙等で広くお知らせしたい。

【質問】 自主運行バス事業の見直しの期限を定めることはできないか。

【質問】 夜間・休日在宅医が集約され、コンビニ受診の影響が懸念されるが、周知方法は

【答弁】 バス車両の更新時期にあわせ実施したい。

【答弁】 効果検証委員会、確かな学びの力と豊かな心の両面で効果があると報告され、一人一人に応じたきめ細やかな指導がなされている。今後も国・県の動向を注視し、着実に35人学級の推進に努める。

【質問】 診療科目のうち外科系

【質問】 部活動について、率直な見解と今後の展開は。



### 市政全般の評価と今後の展望 学校教育全般／スポーツ振興策

誠和会 増田 暢之 議員（総括質問）

#### 市政全般

【質問】 市長就任後、2年経過しようとしている今日、市政全般を回顧しての感想は。

【答弁】 「改革はまず市役所から。改革推進は市長、市役所職員から。改革によって生まれた財源は市民サービスへ」を基本に取り組んできた。加えて、職員の意識改革を図ってきた結果、多くの職員から

提案が寄せられるなど、着実に成果が現れてきた。

【質問】 23年度予算の基本的概念と特に心血を注いだ施策は。

【答弁】 当初予算主義を基本として、基金等に過度に依存しない健全型の予算を目指した。特に力を入れた施策は、救急医療施設整備事業、EV産業成長促進支援事業等である。

#### 教育

【質問】 ふるさと先生制度に関する評価、感想と今後のあり方について見解を。

【答弁】 効果検証委員会、確かな学びの力と豊かな心の両面で効果があると報告され、一人一人に応じたきめ細やかな指導がなされている。今後も国・県の動向を注視し、着実に35人学級の推進に努める。

【質問】 部活動について、率直な見解と今後の展開は。

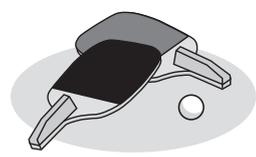
【答弁】 精神力や責任感等が育成されるなど、意義ある活動である。指導者については、中学校スポーツ部活動外部指導者派遣事業を行い派遣している。今後

【質問】 精神力和責任感等が育成されるなど、意義ある活動である。指導者については、中学校スポーツ部活動外部指導者派遣事業を行い派遣している。今後

【質問】 実に向け、引き続き支援に努める。

【質問】 スポーツ振興計画策定の考えは。

【答弁】 旧市の計画を引き継ぎ、校庭の芝生化やスポーツの拠点づくり等を推進している。今後、情勢の変化等による見直しなどを行い、現実に即した計画としていきたい。



### 安心・安全のまちづくり 行政関連課題

公明党 警田 小野 泰弘 議員（総括質問）

#### 安心・安全

【質問】 後見人支援活動等を行う後見センターの考えは。

【答弁】 資材の貸し出しや土砂の収集処理、まち美化パートナーの人的支援を行っている。今後の対応は、高齢化が進み実施困難なものは、直営職員の対応や業者委託を検討する。

【質問】 後見センターを含め、適切な支援のあり方について、社会福祉協議会と連携し、先進事例の研究を進めたい。

【質問】 健診時にメンタルヘルスチェックを行う考えは。

【質問】 民生委員・児童委員への市の支援と今後の課題は。

【答弁】 特定健診は、生活習慣病予防に重点を置くため、メンタルヘルスチェックを実施するには限界があり、現段階では難しい。自殺の原因は健康問題が多いことから、希望者を対象に心の診断ができないか、研究していきたい。

【質問】 発達障害の子供を育てる保護者をサポートするペアレントメンターの養成は。

【質問】 新ごみ処理施設の灰溶融炉稼働後の評価と対応は。

【答弁】 親が一人で悩まないよう、家族同士で支援できる体制づくりのため有効だと認識している。ペアレントメンターに関する情報収集に努め、養成講座等の情報提供により、家族を支援していきたい。

【質問】 地域の側溝清掃における市の支援

【答弁】 現時点では、安全に機能し、運転できることが最優先であり、スラグ化の効果や費用対効果等を総合的に検証し、方向性を検討していく。



新ごみ処理施設

【質問】 地域の側溝清掃における市の支援

**中部電力(株)に浜岡原発の  
安全対策について申し入れ**

3月30日、浜岡原子力発電所から半径10kmから30kmの圏内の市のうち4市（磐田市・焼津市・藤枝市・袋井市）の議長・市長が連名で、中部電力(株)に対し申入書を提出しました。

**福島第一原子力発電所で発生した事故等に伴う  
浜岡原子力発電所の安全対策等について**

この度の東北地方太平洋沖地震により、福島第一原子力発電所では原子炉の冷却機能が停止し、炉心溶融の危機、爆発事故等に伴い、半径20km以内の地域に避難指示が出され、半径20kmから30kmの圏内が屋内退避の対象になるなど、深刻な事態となっております。

こうした防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲（EPZ）以外の住民が避難するという深刻な事態には、問題の原子炉と同型の原子炉が設置されている浜岡原子力発電所の周辺自治体として、重大な懸念を感じざるを得ません。つきましては、次の事項について強く申し入れます。

- 1 浜岡原子力発電所の原子炉について、今回の福島第一原子力発電所の事故原因等を踏まえて直ちに点検等を実施し、安全を確保するために万全な対策を実施すること。
- 2 住民の安全性の確保と防災対策の確立のため、安全協定の締結の範囲を国際原子力機関（IAEA）が提唱している緊急防護措置計画範囲（UPZ）に準じて半径30kmに拡大するなど、安全対策の徹底を図ること。プルサーマル計画を含めた浜岡原子力発電所の耐震性・安全性について、徹底検証とその結果を説明し、公表すること。

**審 議 結 果**

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 22年度一般会計補正予算（第5号）
- (2) " 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (3) " 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) " 介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- (5) " 公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- (6) コミュニティセンター条例の一部改正
- (7) 福田保健センター条例等を廃止する条例の制定
- (8) 22年度公共下水道事業沼原川雨水幹線管渠新設工事請負契約の変更
- (9) 23年度磐田市外1組合公平委員会特別会計予算
- (10) " 駐車場事業特別会計予算
- (11) " 後期高齢者医療事業特別会計予算
- (12) " 介護保険事業特別会計予算
- (13) " 広瀬財産区特別会計予算
- (14) " 岩室財産区特別会計予算
- (15) " 虫生財産区特別会計予算
- (16) " 万瀬財産区特別会計予算
- (17) " 農業集落排水事業特別会計予算
- (18) " 公共下水道事業特別会計予算
- (19) " 水道事業会計予算
- (20) " 病院事業会計予算
- (21) 防犯まちづくり条例の制定
- (22) 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- (23) 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- (24) 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正
- (25) 磐田市外1組合公平委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- (26) 教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正
- (27) 職員等の旅費に関する条例の一部改正
- (28) 消防団条例の一部改正
- (29) 病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正
- (30) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (31) 公共施設整備基金条例の制定
- (32) 土地取得事業特別会計条例及び土地開発基金条例を廃止する条例の制定
- (33) 体育施設に関する条例の一部改正
- (34) 国民健康保険条例の一部改正

- (35) 国民健康保険税条例の一部改正
- (36) 特定環境保全公共下水道事業受益者分担に関する条例の一部改正
- (37) 放課後児童クラブ条例の一部改正
- (38) 市立総合病院看護師等修学資金貸与条例の制定
- (39) 財産の譲渡
- (40) 市営土地改良事業の施行
- (41) 市道の路線認定
- (42) 副市長選任の同意
- (43) 固定資産評価員選任の同意
- (44) 人権擁護委員の候補者推薦の意見
- (45) 市議会委員会条例の一部改正

■賛成多数により可決された議案

- (1) 23年度一般会計予算
- (2) " 国民健康保険事業特別会計予算
- (3) 市立保育園条例の一部改正

これらの議案は討論が行われました。表決結果はいずれも次のとおりです。

賛成23（五・誠・新・公・争）、反対3（共）

※欠席1（新）

会派名の表記（人数）

「五」五和会（10）、「誠」誠和会（6）、「新」新磐田（6）、  
「共」日本共産党磐田市議団（3）、「公」公明党磐田（2）、  
「争」争論（1）

（注）議長は採決に加われません。

**5月臨時会の予定**

— 5月13日～20日（8日間） —

5月13日 本会議（議案の上程、説明・質疑）  
常任委員会

16日 常任委員会（審査予備日）

20日 本会議（議案の採決等）

※いずれも午前10時から